

『FPウレタン断熱パネル』がこのたび、 ジャパン・レジリエンス・アワード 2020 強靱化大賞『優秀賞』を受賞しました！

ジャパン・レジリエンスアワードは、次世代に向けたレジリエンス社会構築に向けて強靱な国づくり、地域づくり、人づくり、産業づくりに資する活動、技術開発、製品開発等に取り組んでいる先進的な企業や団体を評価・表彰する制度です。
(主催：運営／一般社団法人レジリエンスジャパン 推進協議会 内閣官房・国土強靱化推進室)

「FPの家」を支える「FPウレタン断熱パネル」は、厳しい冬の寒さに打ち勝ち、寒暖差による結露や湿気を防ぐことを目的に1985年北海道で開発されました。誕生から35年経過する中で、この国は幾多の地震被害や度重なる水害被害に見舞われてきましたが、「FPの家」も例外ではありませんでした。全国で数多くの災害に遭いながら、その度にお施主様より耐水性や堅牢性に対し高い評価をいただいております。生まれながらに備わっていた「強靱さ」がここにきて改めて認められることになりました。



FPの家の申し子
ペンイチくん



ジャパン・レジリエンス・アワード
2020

業界初！壁倍率大臣認定を取得！

2016年にFPウレタン断熱パネル（「筋交いなし」壁パネル）が壁倍率2.1倍の国土交通大臣認定を取得しています。耐力面材や筋交いのないパネル枠と一体成型された硬質ウレタンフォームが主耐力として認められた壁倍率大臣認定は業界初。これによりFPウレタン断熱パネルは確かな性能と優れた耐震性を有することが改めて証明されました。



無結露50年保証 実施！

壁の内部に湿気が広がり、いつの間にか断熱材が水を吸って本来の性能を低下させてしまう。住まいの劣化に繋がる原因となる一例です。施工状態が酷い場合、最悪放っておくと躯体を腐らせてしまう可能性も。FPウレタン断熱パネルの素材である硬質ウレタンフォームは、水や空気をほとんど通さない独立気泡構造の軽量な発泡体で、素材そのものが耐水性・防湿性に優れています。加えて外壁下地の内側に通気層を設ける仕様が、湿気の侵入や滞留を防ぎ、壁内部の結露（壁体内結露）の心配をなくしてくれます。過去の検証で得た結果も相まって、経年変化や性能劣化が少ないFPウレタン断熱パネルは、高い耐久性を持つ自信の証として壁体内の「無結露50年保証」をお約束しています。



洪水や浸水に負けない！

毎年のように各地区で発生する集中豪雨による水害。古くは高知豪雨で総合住宅展示場内にあった「FPの家」のモデルハウスが床上2mまで泥につかる大きな被害に遭うことがありました。にも関わらず、断熱材であるFPウレタン断熱パネルには水害の影響が見られず約3週間で原状回復でき、更に展示場終了後にはそのまま移築してお客様にご購入頂いたという例があります。その他、復旧の要請にいち早く応える実績も幾度とあり、お客様に笑顔と勇気をお届けしています。このように再利用できる断熱材は他にはありません。



■モデルハウス ■復旧の様子 ■移築販売された住まい

耐震・耐火実験で実証された安心の構造！

FPウレタン断熱パネルを用いた建物に阪神・淡路大震災を再現した振動を与えた耐震実験を実施しましたが、ほとんど影響がなかった結果が出ています。また、実際に各地区で発生している地震や、2011年、東北地方を中心に広範囲に襲った「東日本大震災」、2016年、前震と本震の大地震とその後の度重なる余震によって甚大な被害をもたらした「熊本地震」など、その中で「FPの家」の耐震性が発揮された例が幾つもあります。「家族を守る器」としての役割を遺憾なく発揮、快適性はもちろん、安全・安心性も提供しています。



■耐震実験の模様 ■東日本大震災／一棟だけ残った「FPの家」 ■熊本地震／被害が少なく済んだ「FPの家」

動画でご覧いただけます

- 日常を一変させた東日本大震災。大津波に耐えた住まい
<https://www.fpweb.tv/archives/17>
- 2度の大きな揺れが襲った熊本地震。本震と余震に耐え抜いた住まい
<https://www.fpweb.tv/archives/488>

